

標準委員会 システム安全専門部会 炉心燃料分科会
第2回 (S1SC2) 議事録

日 時： 2010年4月23日(金) 13:30~16:40

場 所： 東京都 日本原子力技術協会 C、D会議室

出席者： 阿部(弘)主査、馬場副主査、矢野幹事、阿部(守)BWR 幹事、
亀田(西川 PWR 幹事代理)、有田委員、岩本委員、加藤委員、河村委員、
北島委員、黒崎委員、杉山委員、関委員、土内委員、長谷川委員、久持委員、
福山委員、山本委員、玉置(工藤委員代理) 計 19名

常時参加者： 大平、小野、河井、北嶋、高野、平川、中川、中島

学会事務局： 岡村

傍聴者： 小澤 (敬称略)

配布資料：

- S1SC2-1 第1回分科会議事録(案)
- S1SC2-2 人事について
- S1SC2-3 システム安全合同タスクの設置について
- S1SC2-4 燃料基準開発タスク活動報告書
- S1SC2-5-1 LUA 照射に関する規格策定の考え方について
- S1SC2-5-2 海外情報について
- S1SC2-5-3 LUA 規格の骨子案

参考資料：

- STC9-9-1 標準策定スケジュールについて
- S1SC1-3-4 LUA 実施標準のイメージ (フロー)

議事及び主な質疑応答

1 出席者確認

幹事より出席者数を確認し、全委員数 21 名のうち 19 名(代理 2 名を含む)が出席しており、本分科会の定足数を満たすことが報告された。

2 資料確認

幹事より議事次第に基づき、配布資料の確認を行った。

3 前回議事録(案)の確認について (S1SC2-1)

幹事より、第1回議事録(案)について、委員に事前送付し、修正済みのものであることが報告され、議事録(案)は承認された。

4 人事について(S1SC2-2)

学会事務局より資料 2-2 に基づき、委員及び常時参加者の交代が報告され、全員の賛成により玉置氏を委員として選任した。また、平川氏の常時参加者への登録が承認された。

- ①退任委員 工藤 保
- ②新任委員 玉置 等史
- ③解除（常時参加者） 卷上 毅司
- ④登録（常時参加者） 平川 博將

5 システム安全合同タスクグループの設置について(S1SC2-3)

幹事より、3月2日のシステム安全専門部会において、PLM分科会・水化学分科会・炉心燃料分科会関連の合同タスクの設置が承認されたこと及び本分科会の阿部(弘)主査が主査に指名されたこと、委員として本分科会の阿部(守)委員、杉山委員、土内委員、矢野委員が委員として参加予定であること、また、幹事団に矢野委員が参加することが報告された。

6 燃料基準開発タスク活動報告書(S1SC2-4)

燃料基準開発タスクの河合幹事から3月12日の標準委員会に報告された燃料基準開発タスクの活動について説明があり、燃料に関する民間規格を検討する場として、また、次世代炉の開発に関連した技術情報基盤、制度基盤に関する検討の場として今後も継続して活動していくことが報告された。

7 LUA 規格について(S1SC2-5-1～3)

LUA 規格策定の着眼点を整理するため規定策定の考え方(資料 5-1)について高野氏より、海外情報(資料 5-2)について土内委員より、標準としての骨子(案)(資料 5-3)について高野氏より説明され、質疑応答した。その結果、標準としては、①LUA 標準の考えるべき点は、燃料としての実炉照射実績によらない評価及び少数体であることを考慮した評価の手法であるが、LUA 標準としての評価記載項目は、現在の許認可に必要な評価をすべて含めること、②LUA としてのイメージを明確化するために場合わけで整理し、LUA としての個別のケースを作成して議論していくこと等が確認された。

8 その他

幹事より、3月2日に開催されたシステム安全専門部会の標準策定スケジュールが報告された。

次回開催日は、6月下旬から7月上旬を目途に別途メールで調整することとした。

以 上